

個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	倉敷中央高等学校			所在地	倉敷市西富井1384		
敷地面積	38,601.00 m ²			棟数	33 棟 (計画記載対象 14 棟)		
延床面積	17,183.16 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	高等学校教育のため						
【想定される自然災害】							
予想震度 6弱		津波 -		浸水 -			
建築規制	市街化区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気 414,620 kWh	ガス 5,023 m ³	水道 7,755 m ³	燃料(灯油) 320 ℓ			
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所(洪水、土砂災害、高潮、地震、津波)						

1 施設内建物の概況

名称	特別教室棟(96棟)30-1	特別教室及び普通教室棟(97棟)30-2	普通教室棟(104棟)30-3
築年(西暦)	1984年	1985年	1986年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	248.40 m ²	474.14 m ²	172.80 m ²
延床面積	993.60 m ²	1,910.96 m ²	691.20 m ²
主要な用途 (室名等)	食物教室 被服教室 美術教室	食物教室 被服教室 音楽教室	普通教室
主要な設備 (屋外を含む)		消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根 外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	普通教室棟(122棟)30-4	図書・普通・特別教室棟(111棟)28-1	体育館(115棟)32
築年(西暦)	1996年	1988年	1991年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄骨造 1階
建築面積	121.01 m ²	369.07 m ²	1,492.82 m ²
延床面積	484.03 m ²	1,379.31 m ²	1,726.51 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室 多目的教室	職員室 普通教室 図書室	体育館
主要な設備 (屋外を含む)		消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機(小荷物用)	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	外壁	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	記念館(116棟)33	特別教室棟(123棟)34	武道場(127棟)35-2
築年(西暦)	1988年	1996年	1999年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 3階
建築面積	358.99 m ²	780.42 m ²	11.47 m ²
延床面積	725.94 m ²	2,006.61 m ²	514.63 m ²
主要な用途 (室名等)	同窓会館	看護医学講義室 介護実習室	武道場
主要な設備 (屋外を含む)		電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	本館(90棟)28-1	特別教室棟(93棟)28-2	普通教室棟(95棟)28-3
築年(西暦)	1981年	1982年	1983年
構造	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階	鉄筋コンクリート造 4階
建築面積	524.46 m ²	248.40 m ²	380.16 m ²
延床面積	1,913.70 m ²	1,006.20 m ²	1,527.84 m ²
主要な用途 (室名等)	化学教室 物理教室 情報教室	生物教室 理科教室 情報教室	校長室 会議室 普通教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 外壁	屋根 外壁	屋根 外壁

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	寄宿舎(66棟)15	寄宿舎(131棟)36	
築年(西暦)	1971年	2016年	
構造	鉄骨造 2階	鉄骨鉄筋コンクリート造 2階	
建築面積	246.63 m ²	138.54 m ²	
延床面積	479.90 m ²	265.22 m ²	
主要な用途 (室名等)	寄宿舎	寄宿舎	
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備		
利用状況	中	中	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
特別教室棟(96棟)30-1	予防保全を図る。
特別教室及び普通教室棟(97棟)30-2	予防保全を図る。
普通教室棟(104棟)30-3	予防保全を図る。
普通教室棟(122棟)30-4	予防保全を図る。
図書・普通・特別教室棟(111棟)28-1	予防保全を図る。
体育館(115棟)32	予防保全を図る。
記念館(116棟)33	予防保全を図る。
特別教室棟(123棟)34	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
武道場(127棟)35-2	予防保全を図る。
本館(90棟)28-1	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(93棟)28-2	長寿命化改修を行う。
普通教室棟(95棟)28-3	長寿命化改修を行う。
寄宿舍(66棟)15	予防保全を図る。
寄宿舍(131棟)36	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

- 1 設備等更新
劣化状況を確認しながら順次更新を行う。
- 2 長寿命化改修
屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。
(90棟、93棟、95棟)2024年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
特別教室棟(96棟)30-1	予防保全			予防保全を図る。							
特別教室及び普通教室棟(97棟)30-2	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟(104棟)30-3	予防保全			予防保全を図る。							
普通教室棟(122棟)30-4	予防保全			予防保全を図る。							
図書・普通・特別教室棟(111棟)28-1	予防保全			予防保全を図る。							
体育館(115棟)32	予防保全			予防保全を図る。							
記念館(116棟)33	予防保全			予防保全を図る。							
特別教室棟(123棟)34	設備等の定期更新					トイレ洋式化					
武道場(127棟)35-2	予防保全			予防保全を図る。							
本館(90棟)28-1	長寿命化改修								設計・施工 7		
特別教室棟(93棟)28-2	長寿命化改修								設計・施工 90棟に含		
普通教室棟(95棟)28-3	長寿命化改修								設計・施工 90棟に含		

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
寄宿舍(66棟) 15	予防保全			予防保全を図る。							
寄宿舍(131棟) 36	予防保全			予防保全を図る。							

4. 概算費用

総額 7億円(長寿命化改修)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.11	特別教室棟(123棟)において、設備等の定期更新を追加